

出版情報

| | |
|---------|-------------------|
| 書名・件名 | 厚生白書(昭和52年版) |
| 副書名 | —高齢者社会の入口に立つ社会保障— |
| 編集者・監修者 | 厚生省 |
| 所在地 | 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2 |
| 国名 | 日本 |
| 郵便番号 | 100-0013 |
| 電話番号等 | 03(3503)1711 |
| 発行日 | |
| 価格 | |

昭和51年度厚生行政年次報告書の発表に際して

厚生省では昭和31年以来、厚生白書により、過去1年を中心とする厚生行政の歩みを広く国民各層の方々にお知らせし、御理解を頂いてまいりましたが、本年も21回目に当たる厚生白書を発表するはこびとなりました。

今日、我が国の社会保障制度は欧米諸国の水準に肩を並べるに至り、医療にせよ年金にせよ、すべての国民の毎日の暮らしに組み込まれ、大きな位置を占めるようになってまいりました。

副題にも掲げましたように、現在我が国は高齢者社会の入口に立っており、今後は世界に類をみない急速な人口の老齢化の進行に伴い、社会保障に対する国民の需要と期待が高まるとともに、その内容も多様化していくものと思われます。しかしながら、このことは同時に若い人々の負担増につながる問題であるので、今後は長期的観点から給付と負担の両面を配慮しつつ、国民生活に適合した社会保障の発展の道を求めていくことが必要であります。

今回の白書はこのような我が国の社会保障のおかれている状況についての皆様方の御理解、御認識をいただくとともに、我が国の社会保障が今後進むべき方向を皆様方とともに考える際の参考とするために、長い社会保障制度の歴史を有し、人口構造の高齢化を経験ずみの欧米諸国の動向をとりまとめております。

今後とも、私どもは厚生行政への皆様の付託にこたえ得るよう努力を重ねてまいる所存であります。皆様におかれましても厚生行政に対する御支援を賜りますよう、ここに心からお願いするものであります。

昭和52年12月 小沢 辰男 厚生大臣